



福山附属の歩み10



オリーブの志

Humanity
交差と更新 自由と自主

Sociality
自主と共生 創造と還元

Creativity
探求と創造 知と能力

人間性・創造性・社会性

他者へのまなざし・進路の実現

校歌

作詞 葛原しげる
作曲 高田 信一

一、
陽光明るく 風清く
四時ほがらの この郷土に
身をねり 鍛えて
磨くは 知性
きげや 備南の天地に
どよむはわれらが 合わす歌声
誇りの学舎 福山附属

二、
七里七島 五里五島
おのおのもの うるわしさ
のばすは その善さ
互みに 助け
遠く七つの 大海と
瀬戸内海との つらなる如も
広めん我が名ぞ 福山附属

三、
山は高きに 聳えつつ
川は低きに 流れゆく
山田よ 芦田よ
久遠の 姿
いざや文化の 花咲かす
尊き使命を 永劫に果たさん
はえある我等ぞ 福山附属



- 10 クリティカルシンキングを育成する 2009年～
サイエンスプログラムを発展・深化させ、クリティカルシンキングを育成するプログラムの開発に取り組み、さらにはこれをベースに据えた持続可能な社会の構築に向けての教育課程の研究開発に取り組んでいる。
- 9 思考力を育む教育課程を開発 2007年2月
2002年3月発行「教科とリンクする『総合的な学習』のデザインと評価」を承けて、「科学的な思考力を育むカリキュラムと教材開発」を同じく東洋館出版社から発行。すべての教科で取り組むサイエンスプログラムを開発・実践し、先進的な科学教育モデルとして高い評価を得た。
- 8 進路指導情報センター完成 2002年4月
進路指導情報センターを要にした担任・スタッフの指導のもと、福山附属でのあらゆる学習と体験が、生徒一人ひとりの進路を実現する。このセンターのとなりには、進路情報資料が整備された進路情報学習室があり、これを中学生から高校生までが利用できる。
- 7 情報教育センター「ローズ」完成 2002年3月
一階は5万冊所蔵の図書館、二階には情報処理演習室、情報語学演習室、236人収容のマルチメディアホールなど、最新鋭の施設はフル稼働中。ここからIT社会に対応した学びを創造する。フロードバンド利用のテレビ会議システムによって遠隔講義も可能。
- 6 教育実習宿泊施設「オリーブ」完成 1985年3月
広島大学の教育実習は宿泊体験型。教育実習期間外では、生徒もクラス・クラブごとに宿泊可能。
- 5 バラ園の完成 1976年5月
バラは福山の花。地域に根ざす学校づくりの象徴としてバラの花を咲かせる。
- 4 緑町校舎から春日の丘へ移転 1973年
新たなキャンパスでの躍進が始まる。土埃の校内の緑化が進む。
- 3 ベルもチャイムも鳴らない学校 1966年4月
自由・自主を日々の実践に定着させる。校内各所に時計がある。
- 2 6カ年一貫教育 1962年4月
学校運営機構上、中学校・高等学校の区分を廃し、全国の学校に先駆けて中高6カ年一貫教育を始める。
- 1 オリーブの校章 1954年11月
スクールカラーのウルトラマリンはギリシアのエーゲ海の紺碧の海の色、古代ギリシアのデモクラシーの象徴でもあるオリーブ、ともに福山附属の象徴である。自由・自主の理想を絶えず追いもとする学校である。校歌も同年制定。

